

平成18年度事業報告書

事業の状況

1. 学術研究費助成事業

寄付行為第4条第1号に掲げる事業は、次のとおり総額15,480,000円を実施しました。

①. 研究費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成18年4月1日から同年4月30日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、54件の応募があり、選考委員会において、32件の研究に対し14,800,000円の助成を行うことを決定いたしました。2件の辞退があり、以下の30件の研究に対して、13,980,000円の助成を実施しました。

1. ヘテロ_ヘテロ結合を有する機能性有機分子の設計と実践的医薬品合成法の開発

岡山大学・大学院自然科学研究科・助教授・井口 勉・50万円

2. 水和反応を触媒する酵素模倣型イリジウム錯体の研究

岡山大学・大学院自然科学研究科・講師・55万円

3. 燃焼圧の直接検知可能な高温圧力センサー

岡山大学・大学院自然科学研究科・教授・岸本 昭・55万円

4. 再帰型二軸圧縮による多結晶金属高強度化プロセスの開発

岡山大学・大学院自然科学研究科・助教授・清水 一郎・55万円

5. 結晶性水素限外ろ過材料の実証研究のための調整法の確立

岡山大学・大学院自然科学研究科・助教授・片桐 利真・50万円

6. ガラスの分相現象を利用した都市ゴミ熔融スラグの再資源化

岡山大学・大学院環境学研究科・教授・難波 徳郎・50万円

7. 腐食劣化したコンクリート構造物の耐力評価法に関する研究

岡山大学・大学院環境学研究科・教授・村山 八洲雄・45万円

8. PCR-DGGEによる食品副産物リサイクル飼料の微生物群集の解析

岡山大学・大学院自然科学研究科・助教授・西野 直樹・55万円

9. アレルギー疾患治療に向けた糖鎖薬剤の開発

岡山大学・大学院自然科学研究科・助手・泉 実・50万円

10. 多機能性ビタミンB6酵素の精密構造機能解析と次世代型抗腫瘍性酵素の創出

岡山大学・大学院自然科学研究科・教授・稲垣 賢二・50万円

11. SnO ベースガラスの鉛代替光学ガラスへの応用の検討
岡山大学・保健環境センター・助手・崎田 真一・48万円
12. 食細胞サイトカインシグナル伝達を基盤にした免疫監視機構解明
岡山大学・大学院医歯薬学総合研究科・教授・松川 昭博・50万円
13. 慢性腎臓病（IgA 腎症）の成因解明
岡山大学・大学院医歯薬学総合研究科・助手・杉山 齊・45万円
14. 現場透水試験法の改良と試験結果の解釈に関する研究
岡山大学・大学院環境学研究科・博士課程・進士 喜英・50万円
15. 果樹病害の遺伝子治療の試み:マイコウイルスの遺伝子工学的利用
岡山大学・資源生物科学研究所・助教授・鈴木 信弘・55万円
16. 乾燥地で生育する小麦の細胞壁の機能特性
岡山大学・資源生物科学研究所・助教授・今野 晴義・50万円
17. Sphingomonas 属細菌によるポリエチレングリコール分解機構の解明と環境中での分解能
伝播解析
岡山大学・資源生物科学研究所・助手・谷 明生・45万円
18. 地域経済の循環構造分析と岡山下市町村におけるその実証
岡山大学・大学院社会文化科学研究科・教授・中村 良平・50万円
19. 食用植物を使ったキサントキシダーゼによるスーパーオキシド生成阻害剤の開発
岡山理科大学・理学部・教授・益岡 典芳・40万円
20. テラ・ヘルツ領域分光を用いた光誘起水素イオン電池材料の研究
岡山理科大学・理学部・教授・若村 国夫・40万円
21. 新しい衝撃申込み硬度試験装置の開発：応力波パルス負荷方式による衝撃申込み硬度及び
破壊じん性の評価
岡山理科大学・工学部・助手・中井 賢治・50万円
22. 万成花崗岩の形成過程と文化・防災地質学
岡山理科大学・総合情報学部・助教授・能美 洋介・50万円
23. epsilon 加速化法を組み込んだ EM 法の加速化に関する数理的構造の解析
岡山理科大学・総合情報学部・講師・黒田 正博・45万円
24. 環境汚染物質クロロフェノール分解微生物の認識遺伝子に関する研究
岡山理科大学・技術科学研究所・教授・八田 貴・45万円
25. 新規な食品機能素材としての「有用オリゴ糖」の食物繊維を原料とする製造方法の開発と
食品産業への応用
岡山県立大学・保健福祉学部・助教授・中島 伸佳・40万円

26. 歴史的町並みにおけるデザイン誘導のための景観形成基準に関する研究
岡山県立大学・デザイン学部・講師・40万円
27. セルロースコーティング米による糖尿病の予防および治療に関する研究
美作大学・生活科学部・助教授・高橋 徹・45万円
28. 小規模生活単位型特別養護老人ホームにおける介護環境と生活展開の関連
川崎医療福祉大学・医療福祉マネジメント学部・助教授・松本 正富・40万円
29. 文法の地域社会内変異と歴史的变化に関する統合的研究
ノートルダム清心女子大学・文学部・助教授・山部 順治・15万円
30. マイクロ風力発電機の大出力化と融雪電源への適用性に関する基礎研究
津山工業高等専門学校・教授・鳥家 秀昭・40万円

②. 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成18年4月1日から同年4月30日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、16件の応募があり、選考委員会において、7件の海外渡航に対して1,500,000円の助成を実施しました。

1. 第24回菌類遺伝学会議への参加及び講演
岡山大学・理学部・教授・鎌田 堯・22万円
2. The 2006 ASME Pressure Vessels & Piping Conference (PVP-2006) に出席及び講演
岡山大学・自然科学研究科・教授・多田 直哉・26万円
3. 第4回界面科学による汚染対策国際会議への参加及び研究発表・研究交流
岡山大学・環境学研究科・助教授・石黒 宗秀・20万円
4. The 13th Biennial Congress of the International Society for Free Radical Research
へ参加しポスター発表
岡山大学・医歯薬総合研究科・助手・寶迫 睦美・20万円
5. アメリカ保健科学大学での論文発表、第2回生体線量計測会議/第7回電子スピン共鳴線
量計測会議への出席
岡山理科大学・理学部・助教授・豊田 新・22万円
6. SICE-ICCAS2006 への参加及び研究発表
岡山県工業技術センター・専門研究員・三輪 昭生・10万円
7. 第6回欧州精密工学国際会議への参加及び研究発表
岡山県工業技術センター・特別研究員・横溝 精一・30万円

2. 学術研究資金助成事業

寄付行為第4条第2号に掲げる岡山県内の研究機関に所属する私費留学の外国人研究者及び研究生に対する研究資金の助成を目的とした研究資金助成事業は、平成18年4月1日から同年4月30日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、24名の応募があり、選考委員会において、以下の5名の私費留学生に対して、総額3,000,000円の助成を実施しました。

1. マラリア薬剤耐性種拡大の数理モデル解析
岡山大学・大学院環境学研究科・チン タンタン・60万円
2. コナガのフェンバレート抵抗性発達に伴う卵サイズの小型化とその遺伝的機構
岡山大学・大学院自然科学研究科・チン ガクトウ・60万円
3. 発光スペクトルの形状変化と波長シフトによる励起状態における多成分相互作用の解明
岡山大学・大学院自然科学研究科・スチントヤ・60万円
4. モンゴル族における移動住空間について
岡山県立大学・大学院デザイン学研究科・ウユン バコン・60万円
5. ゴム人工筋を用いた湾曲アクチュエータの開発とロボットハンドへの応用
岡山理科大学・大学院工学研究科・チョウ フェイフェイ・60万円

3. 研究者交流事業

寄付行為第4条第3号に掲げる事業は、次のとおり総額644,718円を実施しました。

①. 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者及び研究生とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、平成19年1月15日に岡山プラザホテルで50名が参加し、立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、436,233円を支出しました。

②. 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動の最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の効率的な推進及び発展に寄与することを目的に、平成19年1月15日に岡山プラザホテルで開催しました。当日は50名が受講し、熱心にメモをとる姿や様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の3名で、事業費としては、208,485円を支出しました。

1. ヘテロ__ヘテロ原子結合を有する機能性有機分子の設計と医薬品合成への応用研究
岡山大学・大学院自然科学研究科・助教授・井口 勉
2. 大気・海洋間の二酸化炭素交換の直接測定に関する研究
岡山大学・大学院環境学研究科・講師・岩田 徹
3. マイクロ風力発電機の大出力化に関する基礎的研究
津山工業高等専門学校・電子制御工学科・教授・鳥家 秀昭

処 務 の 概 要

1. 役員に関する事項

(平成 18 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	就任年月日	常 勤 非常勤 の 別	手当	現職名	備考
理 事 長	山 地 弘	H 17. 4. 1	常 勤	無	(株) ウ エ ス コ 代表取締役社長	H10. 3. 17
常務理事	加 納 溥基	H 17. 4. 1	常 勤	無	(株) ウ エ ス コ 顧 問	H10. 3. 17
理 事	河 野 伊 一 郎	H 17. 4. 1	常 勤	無	国立高等専門学校 校機構 理事長	H10. 3. 17
理 事	大 崎 絃 一	H 17. 4. 1	常 勤	無	岡山商科大学 商学部 教授	H14. 7. 1
理 事	阪 田 憲 次	H 17. 4. 1	常 勤	無	岡山大学大学院 環境学研究科教授	H13. 4. 1
理 事	若 佐 博 之	H 17. 4. 1	常 勤	無	(株) 山陰合同銀行 頭 取	H15. 4. 1
監 事	松 本 清	H 17. 4. 1	常 勤	無	税 理 士	H10. 3. 17
監 事	福 原 一 義	H 17. 4. 1	常 勤	無	公 認 会 計 士	H10. 3. 17

注) 平成 18 年 3 月 31 日現在の評議員数は、12 名です。

2. 職員に関する事項

職 名	氏 名	採用年月日	担当事務	給与月額	備 考
職 員	小 田 彰	H 17. 12. 01	総務全般	無 給	常勤
職 員	小 林 一 士	H 16. 04. 01	総務全般	無 給	常勤

3. 役員会等に関する事項

ア. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 18 年 06 月 29 日	平成 17 年度決算報告承認の件 要綱改正の件 議事録署名人選任の件 平成 18 年度助成対象者について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した
平成 18 年 10 月 24 日	議決権行使承認の件 議事録署名人選任の件	承認可決された 承認可決された
平成 19 年 03 月 28 日	平成 19 年度事業計画及び収支予算承認の件 特定預金の取崩時期及び取崩額承認の件 評議員及び選考委員選任の件 理事長及び常務理事選任の件 議事録署名人選任の件 平成 19 年度の行動予定について 公益法人制度改革の概要について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した

イ. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 18 年 06 月 29 日	平成 17 年度決算報告承認の件 要綱改正の件 議事録署名人選任の件 平成 18 年度助成対象者について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した
平成 19 年 03 月 28 日	平成 19 年度事業計画及び収支予算承認の件 特定預金の取崩時期及び取崩額承認の件 理事及び監事選任の件 議事録署名人選任の件 平成 19 年度の行動予定について 公益法人制度改革の概要について	承認可決された 承認可決された 承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した

ウ. 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 18 年 07 月 14 日	平成 18 年度助成対象者選考の件 議事録署名人選任の件	対象者を決定した 承認可決された

4. 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

許可、認可及び承認年月日	許可、認可及び承認事項	備考
平成 17 年 05 月 16 日	特定公益増進法人	

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄附金に関する事項

寄付目的	寄付者	領収金額	備考
運用財産	(株) 日産フィナンシャルサービス	20,000	
運用財産	岡山プラザホテル (株)	20,000	
運用財産	(有) エスピーエス	10,000	
運用財産	(株) 森測量器械店	10,000	
運用財産	(有) 通クリック社	10,000	
運用財産	(有) ティーアイシー岡山	10,000	
運用財産	護美飼糧 (株)	20,000	
運用財産	(株) きもと	10,000	
運用財産	オリックス自動車 (株)	10,000	
運用財産	(株) MS コミュニケーションズ	20,000	
運用財産	美工社デジタルクリエイツ (株)	10,000	
運用財産	ブルーリボンサービス (有)	10,000	
運用財産	富士ゼロックス岡山 (株)	10,000	
運用財産	(株) ジッタ中国	10,000	
運用財産	(株) プロネクサス	20,000	

7. 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

8. 税法上の収益事業の有無

該当なし

9. その他の注意事項

該当なし

収 支 計 算 書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 基本財産運用収入	20,017,000	20,057,916	40,916	
基本財産利息収入	17,000	57,916	40,916	
基本財産配当金収入	20,000,000	20,000,000	0	
2. 寄付金収入	100,000	200,000	100,000	
運用財産寄付金収入	100,000	200,000	100,000	
3. 雑収入	2,000	4,476	2,476	
受取預金利息収入	2,000	4,476	2,476	
4. 特定預金取崩収入	10,000,000	10,000,000	0	
研究助成積立預金取崩収入	10,000,000	10,000,000	0	
研究資金助成積立預金取崩収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	30,119,000	30,262,392	143,392	
前期繰越収支差額	680,000	775,182	95,182	
収入合計 (B)	30,799,000	31,037,574	238,574	
II 支出の部			0	
1. 事業費	20,000,000	19,124,718	△ 875,282	
学術研究助成事業費	16,300,000	15,480,000	△ 820,000	
学術研究資金助成事業費	3,000,000	3,000,000	0	
研究者交流事業費	700,000	644,718	△ 55,282	
研究者交流事業費			0	
2. 管理費	350,000	242,138	△ 107,862	
会議費	150,000	149,919	△ 81	
旅費交通費	60,000	20,280	△ 39,720	
通信費	60,000	52,309	△ 7,691	
消耗品費	5,000	0	△ 5,000	
印刷製本費	20,000	0	△ 20,000	
租税公課	5,000	1,000	△ 4,000	
雑費	50,000	18,630	△ 31,370	
3. 特定預金支出	10,000,000	10,000,000	0	
研究助成積立預金支出	10,000,000	10,000,000	0	
研究資金助成積立預金支出			0	
4. 予備費	50,000	0	△ 50,000	
当期支出合計 (C)	30,400,000	29,366,856	△ 1,033,144	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 281,000	895,536	614,536	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	399,000	1,670,718	1,271,718	

正味財産増減計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	895,536	
研究助成積立預金増加額	10,000,000	
研究資金助成積立預金増加額		10,895,536
2. 負債減少額		
増加額合計		10,895,536
II 減少の部		
1. 資産減少額		
当期収支差額		
研究助成積立預金取崩額	10,000,000	
研究資金助成積立預金取崩額		10,000,000
2. 負債増加額		
減少額合計		10,000,000
当期正味財産増加(減少)額		895,536
前期繰越正味財産額		642,775,182
期末正味財産合計額		643,670,718

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	1,690,998	
流動資産合計		1,690,998
2. 固定資産		
基本財産		
定期預金	50,000,000	
有価証券	582,000,000	
基本財産合計	632,000,000	
その他の固定資産		
特定預金	10,000,000	
その他の固定資産合計	10,000,000	
固定資産合計		642,000,000
資産合計		643,690,998
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	20,280	
流動負債合計		20,280
負債合計		20,280
III 正味財産の部		
正味財産		
正味財産		643,670,718
(うち基本財産)		(632,000,000)
(当期正味財産増加(減少)額)		895,536
負債及び正味財産合計		643,690,998

財 産 目 録

平成19年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
普通預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	465,236	
普通預金 (中国銀行/奉還町支店)	1,225,762	
定期預金 (中国銀行/奉還町支店)		
流動資産合計		1,690,998
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	30,000,000	
定期預金 (中国銀行/奉還町支店)	20,000,000	
有価証券 (㈱ウエスコ 2,000,000 株)	582,000,000	
基本財産合計	632,000,000	
(2) その他の固定資産		
特定預金 (山陰合同銀行/岡山支店)	10,000,000	
その他の固定資産合計	10,000,000	
固定資産合計		642,000,000
資産合計		643,690,998
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金 (3月分タクシー代)	20,280	
流動負債合計		20,280
負債合計		20,280
正味財産		643,670,718

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却について

該当なし

(3) 引当金の計上基準について

該当なし

(4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	50,000,000	—	—	50,000,000
投資有価証券	582,000,000	—	—	582,000,000
合 計	632,000,000	—	—	632,000,000
(基本金)	(50,000,000)	—	—	(50,000,000)

注) 投資有価証券は、平成13年7月30日(名義書換日)、加納溥基氏から基本財産として寄附された株式会社ウエスコの株式2百万株であり、受領金額は理事会での受入決議日(平成13年7月27日)の大阪証券取引所市場第二部の終値(291円/株)により計算しています。

3. 担保に供している資産

該当なし

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	781,832	1,690,998
合 計	781,832	1,690,998
未払金	6,650	20,280
合 計	6,650	20,280
次期繰越収支差額	775,182	1,670,718

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6. 保証債務

該当なし